

岡山市長 様

申請者 団体名 NPO 法人～だっぴ～
所在地 岡山市南区藤田 672-13
代表者役職 代表理事
氏名 柏原拓史

⑩

平成27年度 岡山市市民協働推進ニーズ調査事業

岡山市との協働による課題解決をより効果的・効率的に進めるため、平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業を提案します。

※詳細は様式第2号に記入し、ここでは要約して枠内に収まるように記入してください。

調査事業の名称	キャリア教育モデルプログラム「だっぴ」導入に向けての 岡山市内中学校キャリア教育状況の聞き取り調査		
調査事業の目的 (明らかにしたいこと)	平成 27 年度に岡山市市民協働推進モデル事業として実施する「中学生だっぴ」を、 岡山市内中学校で実施するために 各学校でのキャリア教育の取り組みにおいての 実感や実施課題の現状を調査する。効果的なキャリア形成の機会を中学生が平等 に受けられるように、様々な環境の中学校で実施できるモデル事業実施体制のパッ ケージを作成する。		
実施予定期間	平成 27年 11月 30日から平成 28年 3月 31日まで		
補助金申請想定額	補助金申請想定額	500	千円
及び事業予算総額	事業予算総額	630	千円

添付書類

- ① 事業計画書(様式第2号)
- ② 収支予算書(様式第3号)
- ③ 団体の概要書(様式第4号)
- ④ その他事業内容や団体概要がわかる資料等

調査事業		<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市内38校 ・各学校の学年団よりランダムに2名 約76名 																		
	調査の方法 (どのように)	質問項目を定め、ひとり15～30分程度を目安にヒアリング調査を行う。聞き取りの中で、共通の選択項目を設定。同時に計測データを収集する。																		
	調査の工程 (いつ・だれが)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>工程</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>調査内容について打合せ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>各中学校へ調査依頼 調査</td> <td>河原</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>調査</td> <td>河原</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>調査、調査結果まとめ</td> <td>河原</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>報告書作成</td> <td>河原</td> </tr> </tbody> </table>	月	工程	担当	11	調査内容について打合せ		12	各中学校へ調査依頼 調査	河原	1	調査	河原	2	調査、調査結果まとめ	河原	3	報告書作成	河原
	月	工程	担当																	
11	調査内容について打合せ																			
12	各中学校へ調査依頼 調査	河原																		
1	調査	河原																		
2	調査、調査結果まとめ	河原																		
3	報告書作成	河原																		
結果の活用方法 (どうする)	<p>○調査内容活用 調査結果より来年度のキャリア教育協働モデル事業の実施体制について協議。実施に必要な支援や仕組みをつくるため、専門家の意見を聞きながら教育機関(中学校、大学)・行政・NPO・地域・企業間の連携方法や道筋を検討。基礎となるいくつかのプランを作成し、28年度以降の実施に向けて準備を行う。</p> <p>○一般公開 調査結果一部をまとめ報告書を作成。冊子印刷はせず、PDFデータをホームページなどで公開する。</p>																			
調査後の展望 (モデル事業への提案を想定している場合は事業の内容など)	<p>「中学生だっぴ」を岡山市内全域で展開していくためには本調査事業をもとに教育現場の実状を汲み取った汎用性の高いプログラムを構築するだけでなく、プログラムの効果を継続的・客観的に測定して、その有用性を高め、示し続けていく必要がある。</p> <p>そのため、私たちは平成28年度も岡山市教育委員会とともに中学生だっぴの理想や方法に共感する中学校を増やししながら、実践と検証を重ねていきたいと考えている。また、プログラムの精査だけでなく安定的な実施体制の構築やノウハウ・工程の効率化、体系化も同時に進める必要があるため、本調査事業及びモデル事業の成果を市教育委員会と共有しつつ中長期の具体的な展望を検討する予定である。</p> <p>「中学生だっぴ」 中学生と地域の大人や大学生が、生き方や仕事・勉強の意味などについて語り合う座談会。少人数グループに分かれ“中学生・大学生・おとな”の三者がフラットな場で、様々なトークテーマを切り口に対話を行う。</p> <p>1、実施効果</p> <p>①様々な生き方や価値観に触れ 将来へのイメージを広げたり、新鮮な進路情報を得る機会となる。</p> <p>②自分自身の内面を見つめなおし 自身のキャリアを考えるきっかけとなる。</p> <p>③将来を具体的にイメージするモデルとなるおとな・大学生と出会う。</p> <p>④ 異年齢との交流により、コミュニケーションの体験的学びとなる。</p> <p>中学生だっぴ実施前後アンケートより 2015年10月23日実施、中学3年生47名を対象に事業終了後に回答 「とてもそう思う」「まあそう思う」と答えた割合の変化</p> <p>○大人になるのが楽しみだ。または働く事が楽しみだ。 61%⇒100%</p> <p>○わたしは自分の将来に希望を持てる。 67%⇒98%</p> <p>○自分のなりたい理想像や将来の夢がある 67%⇒93%</p>																			

	<p>※別添え資料「中学生だっぴアンケート結果」より抜粋</p> <p>2、様々な立場の人と連携</p> <p>PTA、地域の大人 中学生の親を中心に、学区に居住または通勤する様々な仕事・活動を行う大人。及び中学生時期に出会ってほしい大人。</p> <p>大学生 地元の大学生に呼びかけ、メンター的な役割で参加。より中学生に学びと気づきが起きるよう、事前に趣旨を理解する説明会と講習会を受講してもらおう。</p> <p>3、当日の実施について</p> <p>時間: 2～3時間程度 場所: 各中学校の体育館など 対象: 岡山市内中学生</p> <p>基本のプログラム:</p> <p>オープニング …場・スケジュールの説明 アイスブレイク …簡単なゲームを行い緊張をほぐし、距離を縮める</p> <p>トーク① 約60分のグループトークを数回行う</p> <p>トーク② 落とし込み …感じたことや考えたことをひとりで考える時間 感想共有 …全体で感想を共有</p>
<p>岡山市及びESD・市民協働推進センターに支援してほしいこと</p>	

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 収支予算書

単位(円)

提案事業名	キャリア教育モデルプログラム「だっぴ」導入に向けての 岡山市内中学校キャリア教育状況の聞き取り調査
-------	--

(収入)

	費目等	金額
自己資金等	実施主体 事業費	130,952 円
	合同提案団体	円
	合計(a)	円
事業収入	事業収入	円
	合計(b)	円
岡山市補助金申請額(c)		500,000 円
収入合計(d) = (a)+(b)+(c)		630,952 円

(支出)

	費目	金額	内訳
経費	人件費	528,000 円	調査費(調査・ヒアリング、資料作成) 10000 円×38 校=380,000 円 関連作業(事務、集計、打合せなど) 1000 円/h×148 時間=148,000 円
	旅費・交通費	56,720 円	調査交通費 38 校(2286k)×20 円/km=51,720 円 その他交通費(打合せ、駐車場代など) 5,000 円
	消耗品費	10,000 円	事務用品(封筒、資料印刷用紙、印刷インク等)
	通信運搬費	6,232 円	郵便代(82 円×38 校×2回)
	委託費	30,000 円	報告書レイアウトデザイン委託費
総事業費		630,952 円	※収入合計(d)と同額

※人件費等を積算する場合は、根拠(賃金規定や過去の支払い状況を示すもの)を添付してください。

※報告書の販売等による事業収入を見込んでいる場合は「事業収入」欄に単価、部数、収入額(いずれも見込)を記入してください。